

青森県総合社会教育センター主催事業報告

生涯学習・社会教育関係職員研修講座センター研修【選択研修第6回】

令和7年12月3日(水)10:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者10名

1 内容

【テーマ】「ファシリテーター講座」初級編

【講 師】県総合社会教育センター職員

【実践演習】



- 「熟議」とは、多様な立場や背景を持つ参加者が、互いの意見を否定せず受け止め合い、議論を通じて新たな視点やアイデアを共有し、全体としての方向性や目標を確認する場として機能します。
- ファシリテーターは、円滑な議論を促進するために話しやすい雰囲気を作り、テーマを明確化するとともに、参加者へ新たな気付きや視野を広げるきっかけを与える重要な役割を果たします。
- アイスブレイクや付箋などを効果的に活用することで、短時間で場をまとめながら参加者の意見を集約し、協働するための土台づくりや考え方の共有を図ることが可能です。
- 話し合いで互いの意見を「受け入れる」のではなく、尊重して「受け止める」視点を持つことが重要であり、結論を急がずに進めることで柔軟な対話を深めることができます。
- 個々の参加者が議論を自分ごととして捉え、自らの行動につなげる意識を持つことが、地域社会や学校における協働の意識醸成や主体的な取り組みを促進する鍵となります。



2 受講者の感想

- ・話しやすい雰囲気を作ることが大事だと思いました。そのためのスキルを学ぶことができました。ワークショップでは、各グループでまとめ方に違いが出たところが興味深かったです。
- ・結論を出しがちな話し合いですが、熟議をすることで多様な考えにふれることができ、視野が広がる点を実感できました。同じ意見でもまとめ方、感じ方が違うのが分かり、今後の仕事に生かしていきたいと思います。
- ・少人数でしたが、ゆっくり丁寧に講義演習が出来たので、「熟議」の手順を理解することができました。パワーポイントデータをいただいたので、機会があれば是非やってみたいと思います。